

## 10月28日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①【ルポ】クリミア友人会議 モスクワ訪問の一水会木村代表、住民の自己決定権尊重と経済制裁反対を訴える(2023年10月26日)

23日から24日にかけて、モスクワ市内のホテルでヤルタ国際フォーラムが開催され、60か国以上からおよそ150人の参加者が集まった。その枠内で行われた「クリミア友人会議」に日本の愛国者団体・一水会の木村三浩代表が参加した。木村氏は、住民の自己決定権でクリミアがロシアに帰属したことを尊重するよう国際社会に呼びかけ、クリミアに対する経済制裁に反対の立場を示した。

木村氏は2014年8月にクリミアを初訪問して以来、10回にわたって現地を訪れ、政府要人や住民との懇談を重ね、日本文化を広める活動を行ってきた。今回、4年ぶりにロシアを訪問した理由について、ロシアの状況を自分の目で見たい、また、会議の参加者から各国の状況を直接聞きたかった、と話している。

「おおむね、日本の報道とは真逆な意見が多かったように思います。ロシアとウクライナの関係を見ても、細かな事実関係やクリミアの人々の自己決定権に至る背景も見て、それぞれの問題を奥まで入って掘り下げてみなければ、と再認識しました。あらためて、2014年3月16日のクリミア住民投票による自己決定権でロシアに帰属したことを全面的に尊重します。西側メディアはロシアがクリミアを武力によって奪ったように国際プロパガンダを行い、日本を含む各国はクリミアに経済制裁を科しています。これはクリミアの人々の人権、生存権を否定するもので、私はそれに断固反対します」

木村三浩氏(一水会代表)

また木村氏は、ウクライナ紛争については停戦を訴え、ゼレンスキー政権の米国依存度が高すぎることを危惧している。

「一日も早くロシアとウクライナの停戦があればよいですが、ウクライナでは2022年10月に、ロシアのプーチン大統領との停戦に向けた交渉は不可能だと明記した大統領令が出ています。停戦のためには交渉が必要ですが、ロシアが話し合いに応じようとしても向こうが応じない。大統領令を解除することから出発しなければならないと考えます」

木村三浩氏(一水会代表)

友人会議には、イタリアやオーストリア、チェコ、セルビア、イスラエル、トルコ、インド、中国、エジプト、ガーナ、キューバなど、様々な国の人々が参加した。ガザ地区出身のパレスチナの代表も来ており、現在の中東の惨状について、パレスチナの人々の苦しみを直接聞く機会もあった。



<https://sputniknews.jp/20231026/17544386.html>

## ②「ハマスは停戦を利用する」 米国は中東での停戦案に否定的(2023年10月24日)

米務省のマシュー・ミラー報道官は 23 日の定例会見で、パレスチナ・ガザ地区を実効支配するイスラム組織・ハマスが停戦を利用してイスラエルへの攻撃を継続することへの懸念から、米政府はイスラエルとガザ地区との停戦案についてはその意味を考える必要があると述べた。

ミラー報道官は「停戦すれば、ハマスに休息を与え、装備を整え、イスラエルに対するテロ攻撃を続ける準備をさせることになる」と指摘。「このような状況はイスラエルにとって耐え難いものだ」とした。

その上で、ミラー報道官は「この問題に関して我々が今後も続けていくのは、ガザに人道支援物資を届けることだ」と強調した。

先週、国連のアントニオ・グテーレス事務総長は、イスラエルとハマスの戦闘について人道的停戦を呼びかけた。EU のジョセップ・ボレル外務・安全保障政策上級代表も、10 月 26～27 日に開催される EU 首脳会議で、EU 首脳がガザ地区での人道的停戦の呼びかけを支持することを期待していると述べた。



<https://sputniknews.jp/20231024/17524285.html>

## ③米政府による中東メディアへの圧力は検閲＝露外務省報道官(2023 年 10 月 26 日, 12:08 (更新: 2023 年 10 月 26 日, 12:09))

アントニー・ブリンケン米務長官はパレスチナ・イスラエル紛争に関する中東アルジャジーラ TV の報道に影響を与えるようカタール当局に要請したが、これは検閲の表れに他ならない。ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官が自身のテレグラム・チャンネルで指摘した。

アクションス通信によると、ブリンケン国務長官はカタール首相に対し、アルジャジーラの「レトリックを和らげさせる」要請をしたという。

ザハロワ報道官は投稿の中で、「検閲も法律で禁止されているが、我々が見るところ、これはブリンケンにとって問題ではないようだ」と指摘した。

アクションス通信によると、ブリンケン国務長官はハマスによるイスラエル攻撃後、カタール政府にそうした要請を行ったという。その後、国務長官は 23 日、米国内のユダヤ人コミュニティ指導部に対し、カタール政府経由で圧力行使したことを連絡したという。米政府はアルジャジーラの「曖昧な解釈」により、イスラエルとハマス間の紛争がさらに大きな展開を迎える可能性を懸念している模様。

アルジャジーラは自己資金で運営していると表明しているものの、カタール政府から直接資金提供を受けているとされる。

先にイスラエル政府はアルジャジーラがハマスによる「プロパガンダのスピーカー」になっていると非難していた。



<https://sputniknews.jp/20231026/17546041.html>

#### ④米国の国連決議案はガザ住民に対する殺戮の免状＝露国連大使(2023年10月26日)

ロシアのワシリー・ネベンジャ国連大使は米国が国連安保理に提出した中東紛争の調停決議案に対し、イスラエル軍がパレスチナ・ガザ地区で地上作戦を行うことを許可するものに他ならないと説明した。

ネベンジャ国連大使によると、米国の決議案にはイスラエルによるガザ地区での地上作戦を一切制限するものではないという。そのうえで、米国の決議は地上作戦に対する「安保理の許可」となりえるとし、「パレスチナ人の子供たちが何千人も命を落とす」とし、「安保理をそのような決議で拘束してはならない」と強調した。さらに米国の地政学的利益に仕することを目的とした決議案を支持することに意味はないとした。

国連安保理では25日、イスラエル・パレスチナ紛争に関する会合が開かれた。米国の決議案には10カ国が賛成、モザンビークとブラジルは棄権。ロシアと中国のほかUAEも反対票を投じた。

中国の張軍国連大使は声明で、米国の決議案に停戦呼びかけが含まれていないとして拒否権を発動したことを説明した。ロシア、中国、UAE、ブラジルは修正案を米国に提案したものの、米国は実質的な変更は行わなかったとのこと。

その後、ロシアが即時停戦を求める決議案を再び提出した。中国、ロシア、ガーナ、UAEの4カ国が支持した一方、米英が反対、さらに9カ国が棄権して否決された。

ロシアは決議案の中で、即時かつ持続可能な停戦を求めたほか、双方による民間施設への攻撃を非難。また、ガザ地区住民の移動命令撤回も含めていた。さらに、ロシア側は人質の即時無条件解放を求めている。

ハマスの指導者、イスマイル・ハニヤ政治局長は声明を発表し、国連安保理におけるロシアと中国の立場を高く評価した。ハマスは声明で「占領(イスラエル)側に立つ米国の決議を(露中が)妨害したことを高く評価する」と指摘している。

先に米国はブラジルの人道決議案に拒否権を発動していた。この決議案で反対票を投じたのは米国だけだった。





<https://sputniknews.jp/20231026/17545589.html>

## ⑥米下院議長はトランプ主義者、ウクライナ支援に懐疑的＝米メディア(2023年10月26日)

米下院議長に選出されたマイク・ジョンソン議員(共和党、ルイジアナ州選出)はウクライナ危機当初、同国への積極的な軍事支援を支持していたものの、追加の資金援助には懐疑的姿勢を示している。米紙ヒルが報じた。

2022年4月、ジョンソン議員はロシアを厳しく批判し、対ロシア制裁を繰り返し要求したほか、ウクライナへの兵器供与やその他の支援提供を定めたレンドリース法(武器貸与法)の速やかな採択にも賛成票を投じていた。

一方、報道によると、ジョンソン議長は「ウクライナに新たな援助を割り当てる必要性に関しては懐疑的な立場をとっている」という。特に、2022年と2023年の歳出法案では反対票を投じていた。

ジョンソン議長は2023年2月、SNSへの投稿で「米国の納税者は昨年、ウクライナに1000億ドル以上の援助を送った」と記し、ウクライナ政府がこうした巨額資金の用途について完全にオープンかつ透明であるかどうかを知る価値があると記していた。

一方、ジョンソン議長はイスラエルへの軍事支援を強力に支持していることでも知られている。

ジョンソン議長はトランプ支持者とされている。トランプ前大統領はジョンソン氏の下院議長選出を予想しており、彼が「素晴らしい」仕事をしてくれるとの考えを示していた。

トランプ氏は記者団に対し、「マイク・ジョンソンは素晴らしい仕事をするだろう。人気があり、頭が良く、切れ味も鋭い。素晴らしい議長になるだろう…私はそうなると信じている」と語っていた。



[https://sputniknews.jp/20231026/17545842.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20231026/17545842.html?rcmd_alg=collaboration2)

## ⑥国連会場で分かる米国の孤立(2023年10月26日)

米国代表がイスラエル擁護のスピーチに、各国代表が退場で抗議を示す。

<https://twitter.com/i/status/1717259213976883301>



<https://twitter.com/sohbunshu/status/1717259213976883301?s=09>

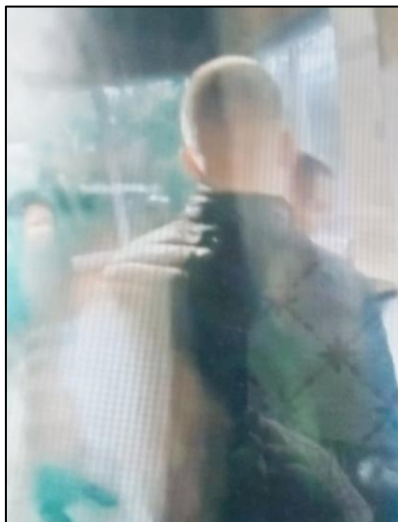
## ⑦ゼレンスキーについて不満を述べた女性宅に SBU が乗り込んだ(2023年10月26日)

「あなた達、人の家の塀を乗り越えて入ってくるなんて泥棒ですか？何しに来たの？この国は不満も真実も述べられないの？」

※投稿者コメント:う〜ん…なんて民主主義的なことでしょうね。

まるで国全体がグラーグ(強制収容所)。

<https://twitter.com/i/status/1717337282385244641>



<https://twitter.com/MKmarisofi21/status/1717337282385244641?s=09>

## ⑧イスラエルがUN国連職員へのビザ発給を停止、事務総長による批判に対抗(2023年10月26日)

国連のグテーレス事務総長はパレスチナ #ガザ 地区で活動するイスラム主義組織「#ハマス」による攻撃について、イスラエルによる長年の占領を背景に攻撃が発生したと指摘した。この発言を受け、イスラエル政府は国連職員へのビザ発給を停止した。タイムズ・オブ・イスラエル紙が報じた。

先に事務総長は国連安保理の会合で、イスラエルに対する攻撃は突然起こったわけではなく、パレスチナ人民は56年間にわたり占領下に置かれてきたと述べていた。

匿名を希望に取材に応じたイスラエル政府高官によると、政府は25日、国連職員へのビザ発給を停止したとのこと。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1717365009146343657?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1717365009146343657?s=09)

## ⑨この約束はどうなった?(2023年10月26日)



<https://twitter.com/MKmarisofi21/status/1717359275281162489?s=09>



⑩イタリア誌、ゼレンスキーを論じる(2023年10月26日)「ゼレンスキーって誰?もう誰もウクライナのことなど気にしていない。武器、数十億ドル、嘘の数ヶ月後」とイタリアの雑誌『L'Identità』は書いている。

⑪西側諸国の指導者たちは新たな紛争に熱心(2023年10月26日)

西側諸国の指導者たちは新たな紛争に熱心に飛びつき、軍産複合体への投資を通じて金儲けをし、個人の評価を高めるために紛争をさらに拡大させようとしている。彼らは停戦と和平を求める代わりに、ハマスとの戦いでILを支援することを主張している。

<https://twitter.com/i/status/1717169536372555952>



[https://twitter.com/kinakomochi\\_215/status/1717169536372555952?s=09](https://twitter.com/kinakomochi_215/status/1717169536372555952?s=09)

**⑫これがイスラエルの学校でハマス支持者に対してやっている事だ！（2023年10月26日）**

イスラム教徒の学生はクラスメート間の会話の中で反政府勢力への支持を表明した。このため、彼らの間で争いが始まりました。

<https://twitter.com/i/status/1717278270230790212>



<https://twitter.com/ne1va9eH9nI2eiM/status/1717278270230790212?s=09>



### ⑬ウクライナの闇サイト 西側供与の武器密売か(2023年10月26日)

ウクライナのダークネット上の闇サイトで、匿名での兵器転売が行われている。そのなかには西側諸国が軍事支援として供与したとみられる C4(プラスチック)爆弾なども含まれている。

「私達はウクライナ全土で銃器を販売しています。あなたの街へ匿名宅配便で配達します。ご都合のいい秘密の隠れ家でお受け取りください」

武器転売サイトには英語でこのような但し書きが書かれている。その下には実際の購入方法や配達方法の選択を行う画面もあった。

出品されている商品のなかには爆薬もある。例えば C4 爆弾 1 セットの値段は 800 米ドル(1000 ウクライナ・フリブニャ)となっており、日本円にすると 1 万 2000 円ほどだ。

露国際兵器取引分析センターはこれまでに、ウクライナに供与された兵器の 10~15 パーセントが違法な密売で中東やアジア太平洋、アフリカに流出していると試算している。トルコメディアはパレスチナ・ガザ地区を実効支配するハマスにも、ウクライナに供与された米製兵器が渡っていると指摘している。



<https://sputniknews.jp/20231026/17546540.html>

### ⑭ザッカーバーグの Meta(旧 Facebook 社)が、600 万人以上のフォロワーを持つインスタアカウント”Eye on Palestine”を禁止!!(2023年10月26日)

ウクライナ代理戦争開始時にRUメディアやRU擁護アカウントが次々制限され、フェイクニュース拡散アカウントが増殖した時と同じ。

私達は情報戦争の真っ只中に置かれています!!



<https://twitter.com/TomokoShimoyama/status/1717303595446517852?s=09>

## ⑮故・安倍首相、いわく(投稿日:2023年10月26日)

### ウクライナ大統領の政策が特殊作戦の原因=安倍元首相

2022年5月29日, 16:10



© AP Photo / Koji Sasahara

日本の安倍晋三元首相はウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領のNATO加盟に関する姿勢とドンバスでの紛争解決の拒否が、ロシア軍による特殊作戦が始まった原因であると表明した。

正しい

安倍氏は英誌 **エコノミスト**とのインタビューで「ゼレンスキー大統領に対して自国がNATOに加盟せず、ウクライナ東部の2つの地方に自治権を与えると約束させることができた場合、軍事行動は回避できただろう」と述べた。

真犯人に言ってどうすんだ？

安倍氏は、ゼレンスキー氏の立場を変えることは非常に難しいだろうが、バイデン米大統領であれば影響を与えることができただろうと述べた。

<https://twitter.com/yiyirobot/status/1717291459416932647?s=09>

## ⑯ブラジルのルーラ大統領(2023年10月26日)

「誰が正しく誰が間違いか、誰が最初に撃ったか誰が最後に撃ったか、そのような問題ではない。これは戦争ではない。既に 2,000 人の子供を殺した大量虐殺だ。罪のない子供たちの死を招くと知りながら、なぜ戦争を始められるのか、私には理解できない」

※ツイッター意見:岸田にもこれくらいのことは、言って欲しいですね！ 官僚の書いたメモばかり読んでないで！



## ⑰米下院議長選～ 新下院議長はマイク・ジョンソン ～ 勝ったのはトランプ大統領 (2023年10月25日)

<https://youtu.be/oBWekRWnQGM>



<https://www.youtube.com/watch?v=oBWekRWnQGM>

## ⑱乗松聡子さんからの情報提供(2023年10月27日)

シリア系英国人ジャーナリスト、リチャード・メドハースト氏による9分の核心をつく動画です。これでウクライナ戦争とパレスチナ戦争が「ガス」でつながります。とりあえず英語のまま送ります。誰か日本語字幕つけてほしいですね。

<https://twitter.com/PeacePhilosophy/status/1717706523617431961>

下は乗松さんが10月26日に ISF(独立言論フォーラム)に出した記事です。バンクーバーのデモの写真があります。

イスラエルと米国はガザでのジェノサイドをやめろ

<https://isfweb.org/post-29383/>